

2023年9月27日

筑紫野市議会
議長 赤司泰一様

報告者 古賀新悟

研修報告書

1. 日 時

2023年8月18日（金）から 8月19日（土）1泊2日

2. 研修先及び研修項目

18日・19日 国立オリンピック記念青少年総合センター会議室

- ・地方議会を討論の広場に～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～
- ・コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障
- ・気候危機対策待ったなし！ 自治体からの取り組みこそが重要災害に強く健康にも資する住宅をすべての人に

19日 上記及び川崎市子ども夢パーク 視察（別添）

第15回全国政策研究集会 2023in 東京

地方議会を討論の広場に～北海道栗山町議会の実践に学ぶ～

講師 中尾 修さん 元北海道栗山町議会事務局
福嶋浩彦さん 元千葉県安孫子市長

【研修目的】

地方議会を討論の広場に～北海道栗山町議会の実践に学ぶ

【内容】

議会を「討論の広場」と位置づけ、議員間や住民との自由闊達な討議を行い、首長の提案した議案に対する修正も積極的に行った議会がある。全国初の議会基本条例で知られる北海道栗山町議会の実践を学び直し、本来の議会へ一歩近づくための手がかりを探る。

① 栗山公民館条例の一部を改正する条例（H20 年 3 月 19 日 3 月定例会）

この議案について、審議期間は半年を要した。現地調査の実施、陳情者の意見を聞く機会の設定、それに基づき当局に当初説明の相違点の確認を何回も行う。回数を重ねることで問題点が絞られていく、ポイント住民からの陳情にあった。この陳情の意味するものを議員間で話し合うことが出来、町が進める財政再建としての施設の集約化と利用住民の声を議会としてどのような結論を導き出すかにかかる。結論は条例の一部改正は可決されたが、陳情者からは議会がここまで審議してくれたのであればやむを得ないとの意見も出た。

② 栗山町新総合計画構想及び基本計画の設定について。

審議期間を十分に確保し、住民の参加や専門的知見の活用をはかり議会としての責任ある結論を出すことが必要。

住民参加を基本として、町長と住民が命名した「総合計画審議会」委員（25 人）と一般会議を 2 回開催。町長提案・議会提案を比較しながら、議会は財政健全化に力点を置き内部改革の徹底を説明、総合計画に記載しない施策は予算化しないなど、計画全体を統御する仕組みを明記した。また議会案作成に於いては専門的知見を活用し、議員間で話し合い共通認識をはかっていった。「総合計画審議会」委員との会議では議会案が理解され同審議会は議会の修正案を大幅に取り入れた答申書を町長に提出される。

北海道栗山町議会が平成 20 年に全国初の議会基本条例を制定。議員間討議を重ね執行部提案の総合計画に議会が対案を作成。住民と情報交換する「一般会議」の開催を議会に義務付けた。市民からは「議会は首長の施策の追認機関だと思っていたけど、違った。」との声もあった。

市民の声を議会が聞くことが出来る仕組みを、議会基本条例に明記し義務化する。そうすることで、市民の声が直接議会へ届き、「自由討論による合意形成」がなされる。反対意見でも討議し答えを出していく。本市議会でも試みたい。

コロナ禍と物価高騰での困窮のリアルと生活保障

講師：雨宮処凛さん 作家 反貧困ネットワーク世話人

コロナ禍での貧困

新型コロナ災害緊急アクション（2020 年 3 月結成）これまでに 2000 件の SOS を受ける。若年化が進み、女性の割合が増えているのが特徴である。

都内には 4000 人のネットカフェ難民

2018 年の発表の東京都の調査によると、1 日あたり 4000 人のうち、7 割がアルバイトや派遣などの非正規労働で、30 代が 38.5%、50 代が 27.9%で1ヶ月の収入は、11～15万円が最多だった。

変わる支援現場の光景

炊き出しや食品配布の現場にならぶ人々が増え続け、コロナ禍前 80 人ほどだったが、2023 年 5 月には 749 人（新宿）にもなり、中高年中心だったが、女性の姿も目立つようになり、子連れや母親やカップルの姿もあり衝撃的であった。

コロナ禍での女性不況

2021 年 3 月時点で女性の「実質失業者」は 103 万人（野村総研の試算）である。2020 年、女性の自殺者は前年比 15.4%増の 7026 人、2021 年は 42 人増の 7068 人となった。女性の非正規雇用率は、56.4%で、コロナ禍で打撃を受けた飲食、宿泊で働く人の 6 割以上が女性で、そのほとんどが非正規である。そして、非正規で働く 8 割以上が年収 200 万円以下である。

非正規雇用の年収（2020 年国税庁）

- ・正規 496 万円
- ・非正規 176 万円
- ・男性非正規 228 万円
- ・女性非正規 153 万円

非正規女性の数は 1413 万人（21 年労働力調査）。そのうち、夫がいる女性は 6 割弱。4 割強は、単身やシングルマザーなど、自らの稼ぎで生活しなければならない人達である。数にして 500 万人を超えるが、ここに対する支援が全くない。

電話相談や相談会に寄せられた声

- ・「大学生。コロナでアルバイトが無くなり、親からの仕送りがなく公共料金と携帯電話滞納中」（20 代男性）
- ・「大学生。コロナでバイトが無くなり、学費も払えないが、大学はどうしてもやめたくない。親からは虐待で逃げている、親には絶対に頼れない。」（20 代女性）
- ・「仕事がなく、アパートの家賃が払えず、電気、ガス、水道停止、50 円しかない。」
- ・「離婚し、保育園で働いている。借金があるので、風俗のアルバイトもしてきたがコロナ

で収入が減り、やりくりができなくなっている」(40代女性)

・「臓器を売って自分の葬式代を出したい。臓器を売れるところを教えてほしい」(70代男性、タクシー運転手)

コロナ第5波～7波で起きたこと

支援団体の炊き出し、野外の相談会に発熱者が訪れる。原則「自宅療養」の中、自宅がない感染者への対処法がない。

第6波では、自宅療養者から、「所持金も尽き、冷蔵庫も空、このままでは餓死してしまう」というSOS。

2022年2月時点で、自宅療養者は最大で58万人で、そこに日本の貧困率15.4%を当てはめると9万人近くが貧困状態で自宅療養をしていると推定される。

第7波では、路上の40代女性(所持金数十円)からSOSがあり、陽性が発覚した。

ドイツの生活保護(布川日佐史氏)

コロナ禍すぐ、労働大臣がドイツ国民に利用を呼びかけた(120万世帯増えることを見込んだ)。2020年3月、コロナで失業し、家賃を滞納しても最大2年間は追い出せないルールを作った。元々、ドイツの生活保護制度は持ち家・車の保有がOKで、家族に連絡がある扶養照会は基本なし。

コロナ禍前、残金130万円で利用できたが、コロナ禍以降、申請を簡素化し、6ヶ月は資産調査なしで、残金800万円以下あれば調査なしで利用可能にした。申請は、オンライン、郵送。元々家賃滞納があれば大家さんが公的機関に通報し、役所の担当が介入する措置を取った。

韓国の生活保護(五石敬路氏)

名称を「国民基礎生活保障」に変更した。それぞれ制度をバラバラで使える単給で、家賃だけ、医療費だけ、教育費だけというふうに使える。単給化によって貧困率も下がる。ソウルの母娘3人練炭自殺をきっかけに世論が動き、死角地帯を無くす大キャンペーンを行った。

感想

30年前から日本の雇用形態や経済政策は、貧困の格差を広げつけた。それは、コロナ禍以降、いっそう拍車をかけている。さまざまなセーフティーネットである資源を充実させることは勿論だが、そもそも何故こんなにも子どもや心を含めた貧困層が増えるのか、その根源を正すことが、最も重要であり、求められている。改めて、実感した。

気候危機対策待ったなし！
自治体からの取り組みこそが重要災害に強く
健康にも資する住宅をすべての人に

講 師 前 真之さん 東京大学大学院工学系研究科建築科建築学専攻 准教授

【目的】 脱炭素政策の一つとして、暮らしにおける省エネルギーを考えるため

学校の教室の断熱を

- ①天井・・・コンクリートの屋根殻の熱で、室内天井が高温に。
 - ②日射・・・窓の日射遮蔽ができていない。
 - ③湿度・・・湿度が高く、汗をかいても、体温が下がらない。
- ＊結果的に、エアコンだけでは、冷やすことができない。

すむ人にとって、大事な2つ

- ①電気代・・・電気代の高止まりを覚悟して、電気の消費量を減らす、本気の対策が必要。
 - ・電気代の高騰で、省エネや断熱への関心が一時高まったが、政府の補助（原資は借金）で
 - 電気代が安くなると、省エネへの関心も下がってしまった。
 - ・お金を使うなら、あとに残る物をつくるべき。
- ②温度・・・いいバランスをとるには、建物の性能が重要。

感想

脱炭素という大きな目標に向けて、とっかかりとして各家庭、そして市内の小中学校、公共施設の断熱による省エネに取り組むことが効果的。すでに地元業者でつくる任意団体で様々な運動が展開されている。議会としても協力協同することが求められている。



魅力満載！夢パーク

2023年8月19日

川崎市子ども夢パークを見学しました！

求められて2003年7月にオープンしたそうです。2006年からは指定管理者制度が導入され、いっそう、子どもたちが生き生きと自由な発想で遊べる学べる空間として、その存在は本当に魅力満載でした。

この日は、炎天下のせいかな子どもたちの人数が少なかったように感じました。一緒になって泥んこになっていた大人の女性がいらしたので、スタッフの方ですかと尋ねたところ、いえ遊んでいる子どもの親です。子どもがここで遊びたいと言うので大田区から40分かけて来ました。とのこと。本当に楽しいだろう、結構な頻度で通っているそうです。

子どもがドラム缶風呂を沸かすのに薪に火をつけようとして、なかなかつかなかったとき、口を出そうとしたら、そばに居た高校生から口出してはダメと言われたそうです。子どもが持っているマッチは残り2本。これがなくなるとその日は断念。次回リベンジ。そうやって、子どもたちは学んでいくそうです。

私の子どものころは、自然相手に遊び、知恵を付けていったことを思い出しました。

今日、そのような空間は、身近なところでは乏しく、人工的に創ることが求められています。私が暮らす“筑紫野市にもあったらいいなあ”を実現するために頑張っている市民の皆さんと一緒に奮闘します。

筑紫野市議会議員 古賀しんご



おとなのみなさん

子どもたちは、たくさんのことに好奇心を持ち、チャレンジします。ここでは、子どもたちの「やってみよう！」という気持ちを大切にしたいと考えています。そのために、プレーパークでは遊びを制限するような禁止事項をできるかぎりつくらないことで、子どもたちが自分で決めたり判断できるようにしています。また自然の素材や廃材、道具や工具を使って子どもたちの発想で遊べるような場づくりをしています。遊びの中では、小さなケガをすることもあります。子どもはその経験を通して危険から身を守る力を身につけていきます。私たちスタッフは日常点検を欠かさず行っていますが、気になることがありましたら教えてください。みんなで一緒に楽しい遊び場をつくっていきましょう。

川崎市子ども夢パーク



地中をめぐらす
トンネル

子どもたちが
作った基地？



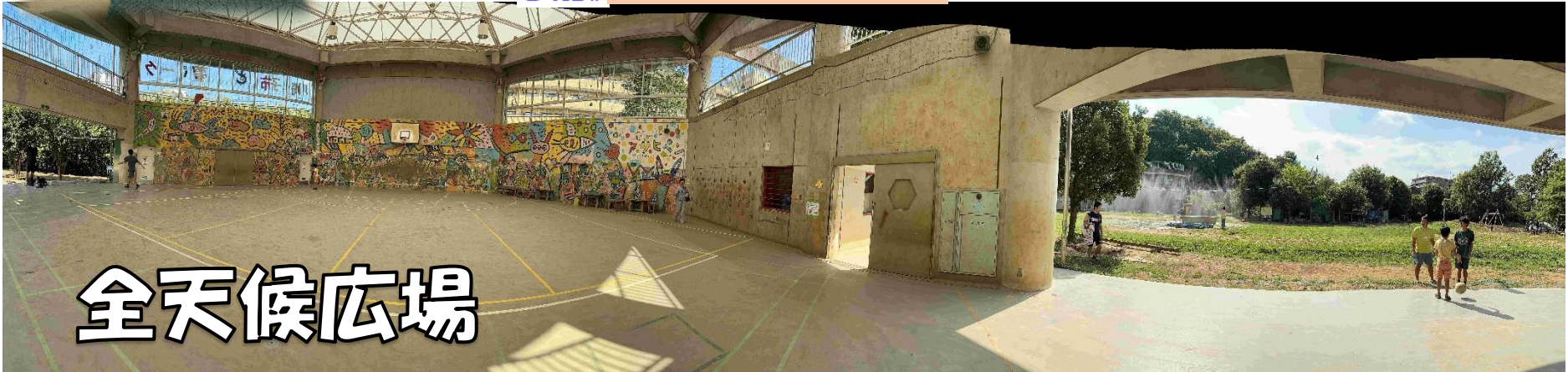
まだまだ心動かす空間
がありましたが、全容は
こちらから



川崎市子ども夢パーク web サイト



子ども会議室も
備わっていました



全天候広場